

10.学校の先生への支援に関すること



50代

栗山の学校で働きたい大人を増やす



40代

学校の先生の本音も聞きたい。



50代

小学校の専科制。
専門ではない先生が教えるのは大変。



50代

35人以下の学級であるべき。
一人の先生が、ひとりひとり見るのは大変。



40代

1クラスの数が多い。先生を増やしてほしい。

学習の為に、町が人を用意したほうが皆が楽しくやれるのでは。
先生がのびのび出来る環境であれば、全部変わると思う。



40代

先生たちに元気でいてほしいな！

私が今更言うまでもなく、今の学校の先生は大変です。勉強を教えるだけでなく、色々な子どもや家庭の対応、トラブルの解決、充実した授業のための準備振り返り、研究や研修、部活動の指導もあります。この“先生は大変”が世に広まり教職を希望する人が減ってきており、さらに人手不足で負担が増える…負のスパイラル真っ只中です。

そんな状況の中、倒れる先生、休まないといけなくなる先生、学校にこれなくなってしまう先生がどんどん増えてきているようです。（町内の学校でもそのような話を聞きます）

私はわが子のことでも、仕事でも学校の先生と関わる機会がありますが、個性豊かで素敵な先生がたくさんいます。そんな皆さん方にこれ以上、倒れてほしくありません。

先生を失うことは、子どもにとって大きな損失です。

人を増やせばいいのか、業務の整理をするのか、具体的な方法を私には示すことはできませんが、先生たちに元気でいてほしい！と強く思います。



40代

先生達が働きやすく、子ども達と一緒に日々の生活を
楽しめる学校



40代

先生達が働きやすい職場環境作り

～当町に限ったことではありませんが、子ども達への対応はもちろん、保護者対応や週末の部活動対応など、非常に多忙で疲弊されている先生方のお話をよく耳にします“子ども達のために”を考えるには、まず子ども達と身近に接している“先生たちのために”を考えることも大事だと思います。当たり前のことかもしれませんが、先生達が心にゆとりを持って働けることが、子ども達への教育にも良い影響を与えるのではないかと思います。



40代

先生が機嫌よく、楽しく、幸せに働いている学校



60代



60代

先生方の負担を少なくするための何らかの活動、先生
のゆとりが子ども達の学校生活を豊かにすると思う。